



子どもには迷惑はかけられない
親の「遠慮」と
親はいつまでも元気なはずだ
子の「油断」

NPO老いと病いの文化研究所われもこう

百歳まで生きてしまいう時代の暮らし方

2026

2月1日 日 14:00~15:00

(20分前から入場可能です)

場所

熊本市市民活動支援センター

あいぽーと 熊本市中央区大江5丁目1-1

講師

社会学者
高齢社会をよくする女性の会・広島代表

春日キスヨ 氏



参加無料・要申込

「お問い合わせ」から
お申込みください。



われもこう
ホームページ

かすが・きすよ／熊本県生まれ。元松山大学人文学部社会学科教授。
専攻は社会学（家族社会学、福祉社会学）。
著書として、山川菊栄賞受賞『介護とジェンダー』（家族社）。
『介護問題の社会学』（岩波書店）。鶴見俊輔・徳永進・浜田晋共
著『いま家族とは』（岩波書店）。近著に『100まで生きる覚悟』
（光文社新書）、『長寿期リスク-元気高齢者の未来』（光文社新
書）など。

～百まで生きる覚悟～

「子どもには頼らない、頼れない」という高齢者が増えています。しかしその人たちに「子どもに頼らない将来に備え、今何をしていますか」と聞くと「何もしていない。何をすればいいかわからない」という答えが返ってきます。

70代半ばまでは「元気高齢者」、80代の急激な変化。一人暮らしより夫婦二人暮らしの方が問題はより深刻。「成り行き任せ」のまま、「将来への不安」を持ちながら、その不安を具体的に解決していく手立てや知識がなかなか見つからない。そこには現代日本の高齢者が、前人未達の超長寿社会に生きている事が関わっていると考えます。

変容する家族形態の中で、今、親世代に起きている問題を見つめ、子世代が長寿期のリスクにどのように対処するのか、新たな「身じまいの文化」を一緒に考えていきましょう。

〈会場案内〉



会場へは公共交通機関をご利用ください。
バス・市電：「交通局前」下車徒歩すぐ。



お問い合わせ



☎096-273-8585

受付：月・水・金(10:00～15:00)

暮らしの保健室まる

熊本市中央区水前寺5丁目17-18
アネシス水前寺1F

☐waremoku@eos.ocn.ne.jp

NPO老いと病いの文化研究所われもこうは、地域にある空き家を活用したホームホスピスという活動を行っています。本当の自宅ではないけれど「もうひとつの我が家」です。2010年に西区で「われもこう薬師」を開設し2013年に中央区で「われもこう新大江」始めました。

どんなに要介護の人であってもその人らしく最期まで、家族とともにその人の生活を支えています。私たちは、入居者がこれまで生きてこられた長い、深い人生と価値観を大事にし、本人の希望とご家族の思いを大切にしています。

※1月20日(火)までにお申し込みください。

FAX申込み (096-273-8584)

お名前

同行者の人数 ()人

住所 〒 -

